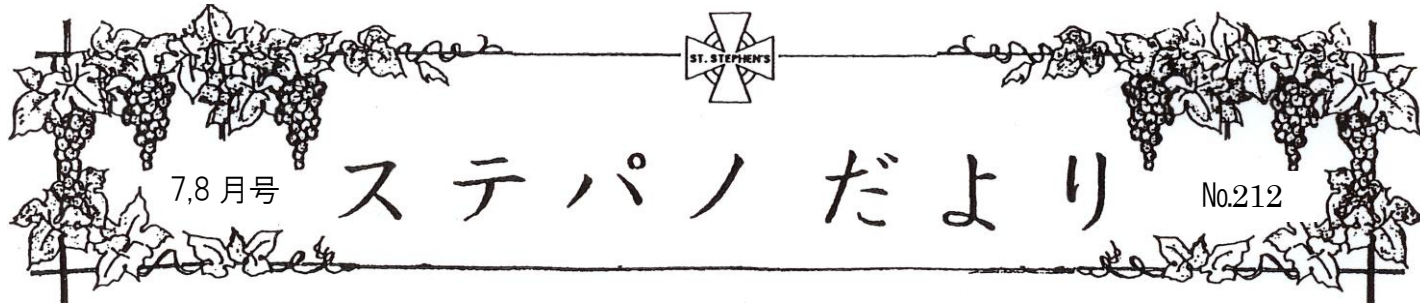




7,8 月号

ステパノだより

No.212

今月の聖句

『愛することのない者は神を知りません。
神は愛だからです。』

ヨハネの手紙一 第4章8節

◎7月の予定

- 1日(土) 学校説明会①
- 6日(木) 地域との交流(中)
- 13日(木) 教務委員会
- 14日(金) 給食終了
- 17日(月・祝) 神奈川全私学展
- 18日(火) 一学期終業礼拝

教職員協議会

- 19日(水) サマーキャンプ事前指導
- 20日(木)～22日(土)

サマーキャンプ(小4～中3)

◎8月の予定

- 22日(火) 漢字検定
- 24・25日 聖公会関係学校夏季研修会
- 28・29日 サービスデー
- 30日(水) 教務委員会
- 31日(木) 全校登校日・教職員協議会

◎9月の予定

- 1日(金) 二期始業礼拝
- 9日(土) ステパノまつり



ご案内

2017

神奈川全私学展

7月17日(月・祝日)

10時～16時

パシフィコ横浜 展示ホールC・D



音楽会♪
みんなが心を
一つにして
元気な歌声を
響かせて
いました。



《学園共通》

☆水泳教室・水泳訓練

一学期の登校も残り少なくなってきました。子ども達が楽しみにしている水泳がいよいよ始まります。小学生、中学生それぞれに目標を持ち取り組みます。今年も大磯ロングビーチとポートハウス照ヶ崎をお借りします。

7月6日(木) ポートハウス照ヶ崎

11日(火) 大磯ロングビーチ

12日(水) 予備日

13日(木) ポートハウス照ヶ崎

☆ステパノサマーキャンプ

7月20日(木)～22日(土)

静岡県立富士山麓山の村へ、小学4年生から中学3年生と一緒にキャンプに出かけます。大自然の中で、野外炊事やキャンプファイアーなど様々な計画をしています。縦割りの体験を通して仲間との関係を深める有意義な2泊3日を過ごします。

《中学校》

☆地域との交流

今年も大磯近郊の方々にご指導いただき、【紙ひこうき、ユニカール、手話、手品、ねんどの花、落語、スポーツ吹き矢】などの様々な体験を行います。

失望しても後悔はしない

学園長 小川 正夫

「あとの後悔先に立たず」という言葉がありますが、私達の日常でも、時々「こうすればよかった。ああすればよかった」と思い返すことがあります。反対に「こんなことしなければよかった、あんなことしなければよかった」という、すればよかった後悔と、してしまっただけ後悔があるようです。

どちらにしても、言葉にしてしまえば簡単なことですが、悩み事や迷いに直面した時、勇気のいる決断が必要となることがあります。そのような時、何もしないのが一番楽のように思いがちですが、あとになって、しておけばよかったのではないかという思いが残ると必ず繰り返され引きずっていくようです。

行動心理学の分野になりますが、人が何かを決めなければならぬ場面に直面するとき、「後悔回避の心理」が働くといわれます。できれば現状を変えようとするより、現状を維持しようとする方が安心だという心理が働くようです。

かつて、宮城県仙台市郊外の尚絅学院大学で行われた研修会に参加した時、アメリカの宣教師の方が「会議で皆さんは、よく例年通りという言葉をおつかいになります、私の一番嫌いな言葉なんです」と言っておられたのを思い出します。

やはりアメリカの作家で少年少女向けに

「トム・ソーヤの冒険」を書いたアメリカの作家、マーク・トウウェインが、このように書いています。「二十年たてば、人はしたことで、より、しなかったことを嘆き、尾を引くようになる」。だから、やらずに後悔するより、たとえ結果がうまくいなくても、やって見た方がいい。勇気をもつてチャレンジしてみた方がいいということです。失望することはあっても、後悔はしない方がいい、という考え方です。

そういえば、日本にはダメ元という言葉がありました。そんなネガティブな考えより、戸を叩きなさい、そうすれば開かれる。求めなさい、そうすれば与えられる。という言葉を選んで方がいいと思います。

夢を描く、希望を抱くということは、夢に向かって努力するということですし、希望を抱くということは、目標に向かって努力することですから、夢、希望、努力は同じスターラインの上にいることになります。

夏休みは、是非、自分らしい夢を描き、自分らしい希望を掲げ、自分らしい努力を計画させてみてください。普段はなかなか取り組めないような挑戦に知恵を働かせる工夫をさせてみてください。

そして、体を鍛えることも忘れずに、元気に、有効に夏休みを使う計画を今から立てていくことをお勧めします。

ゴトン・ロヨン

事務長 村井 信治

この七月一日よりステパノ学園で事務長としての仕事を始める事となりました。宜しくお願ひ致します。前職の三菱商事でインドネシアでの長い駐在生活も経験しましたが良い文化と思いご紹介致します。ゴトン・ロヨン (Gotong royong) は、ジャワ王朝の時代から続くインドネシア人の多くが持つ相互扶助・協力のよき慣習です。ゴトン・ロヨンは、ジャワ語で、gotong. 「運ぶ」「持ち上げる」と、royong. 「一緒に」「集まって」からなり「一緒に持ち上げる」とか「集まって持ち運ぶ」を意味します。インドネシア社会に様々な影響を与えている言葉です。実際には、周囲の人と一緒に協力しあって何かをするときに使います。「全員で話し合い全員の合意で協力し合う」という伝統です。インドネシア人は、相互協力や喜捨は当然の事だと思ひますし、またそれは金銭的なものに限りません。精神面や、労働だったりもします。自身の能力に応じてそれなりの事を行います。微笑みの国の心豊かな人々のゴトン・ロヨンの思ひも込めて教職員のチーム力を以つて子ども達も「ステパノ学園の生徒児童であつてよかった」「子どもを託してよかった」と思えるような学校であり続けますよう学校の裏方として皆様と力を合わせて役割を果たして行きたいと存じます。

二〇一七音楽会

教諭 根田 栄子

六月二十日、今年も聖ステパノ学園では多くの保護者の皆様にご来場いただき、あたたかいご声援の中、音楽会が行われました。

一年生は『すんばらしき主イエスの愛は』と『かたつむり』を発表しました。かわい一手拍子やミュージックベルで上級生達を魅了しました。

二年生は『私のように』と『川はよんでいる』。鍵盤ハーモニカとレインステイック、マラカスで流れる水を表現しました。

三年生は『心の扉を』と『野原で手をたたけ』。十八人の子どもたちがまさにクラス一体の歌声を披露してくれました。

四年生は『主よおいでください』と『喜びの歌』。人数の少なさを生かし、一人一人がソロパートを受け持ちました。(六月からの転入生は除いて)そろそろリコーダーの学習が始まる三年生と保護者から特に大絶賛！をいただきました。

五年生は『まぶねの中に』と『お陽さまになって』。聖歌の伴奏は〇君にお願いしました。『お陽さまになって』では深い歌詞と強弱をうまく表現した演奏で、客席の涙を誘いました。

ここで先生方の『みんながみんな英雄』と『Hail holy queen』。新任の先生方中心に、

ドラムありアルトサックスあり寸劇ありソロ歌唱あり：子どもたちも大喜びで、私もホッと一安心しました。

続いて六年生は『神こそ愛なり』と『Country road』。リコーダー担当者は放課後にも音楽室に集まり、練習しました。英語での歌唱にも挑戦し、健闘しました。低学年の児童達は『六年生、英語で歌ってかっこよかった！』と目をキラキラさせていました。

中学一年生は『すべてのものは神の宝』と『Let's search for tomorrow』を発表しました。『Let's search for tomorrow』はS君に伴奏をお願いしました。彼のおかげで「来年は自分も伴奏をしたい」と言ってくれる後輩たちが増えました！

中学二年生は『いつくしみ深き友なるイエスは』と『カリブ夢の旅』。聖歌の伴奏はK君にお願いしました。お腹から声を出し、曲想の変化もはつきり付けて歌うことができていました。

中学三年生は『暗闇ゆく時には』と『木星』を演奏しました。上級生らしい落ち着いた声でしっかりと歌い、また中三初のリコーダーアンサンブルで、テナーリコーダーやバスリコーダーにも挑戦しました。小学生達は今まで見たこともない大きなリコーダーの登場に目を丸くし、三年生へのあこがれの気持ちを強くしたようです。

この日に向け、早いクラスでは四月から演奏する曲を選び、少しずつ準備を積み重ねて

きました。今年度は各学年ともに、例年より少しずつハードルを上げ、『練習しないとできない』選曲をしました。狙いは的中し、中学校では朝練・昼練・帰りの会…と各学年、とてもよく練習していたと思います。

練習を続ける中で、たった一か所間違えてヤル気が無くなってしまうたり、行き違いからケンカになってしまったり、クラスの一人が練習に参加しないため曲が演奏できなくなってしまうたり…と様々な問題に直面しながらも、その度に子ども達はクラスで一緒に話し合い、助け合い…それらの大波を乗り越え、日に日に上達して、無事本番を迎えることができました。

ステパノ三大行事の一つ、音楽会を経験し、子どもたちは今年もまた、一段と大きく成長したようです。



「音楽会」のこと

非常勤講師 笹尾 和子

私は平塚から大磯に通っていますが、音楽会が近づいてくる頃に変化する花をみて思うことがいくつかあります。私の通る道端で小判草をたくさん見ることが出来ます。5月の連休の頃は若草色、いつの間にか枯れて藁色になります。本物の小判は見たことがないけど、にぎやかな小判草の小さい実が揺れて楽しそうに見えます。冬の期間は目立たなかったアジサイのミドリの葉が目立って見えてきます。アジサイの近くで長い茎がすうーっと伸びてきてアガパンサスのつぼみを見つけたことができます。1メートル位のまっすぐな茎、お習字の筆のような形です。(中は蕾が束になっている)茎と花芽が別々に伸びてきます。彼岸花やガーベラも花をつける茎と葉が別々に伸びる種類ですね。アジサイのピンク青・紫の濃淡は華やかで元気な気持ちになります。一方でアガパンサスの薄い紫色を見ると落ち着いて優しい気持ちになります。日照時間の関係で成長して色が変化していつて自然ってうまくできているなあ！と感動します。

音楽会の準備は新学期に少し慣れた頃、いくつかの候補の曲が決まって練習をしていきます。音楽の授業だけでなくクラスの時間も

使って練習していきます。

私は小学1年生と2年生の皆さんと授業を



しています。4月は緊張でいっぱいですが次第にクラスの雰囲気や歌声の特徴が出てきます。上手な演奏というよりも、曲のメロディーを掴む事とリズムを覚えること、歌詞を覚えること、クラス全員で力を合わせることを大切に練習していきます。

学校の流れについていくだけでも1年生は体力を使っていると思います。休み時間が終わったら↓教室に入って音楽の支度をする↓並ぶ↓音楽室へ移動する。音楽室までの道のりは上級生には当然になっていると思います。が、この時期の1年生が移動教室で授業を受けることはハードルが高いと思います。ですが、廊下に出ると上級生が「いつてらっしゃーい」「休み時間遊ぼうね」「○○さん、またね」と笑顔で声掛けをしてくれます。私は目的地まで安全に到着してもらいたくてドキドキしますが、「あつ」という間にみんなが仲良くなっている学校だな」と思いました。これは音楽室から1年生の教室に戻るときにより強く感じています。上級生もまだ小さかった時にお兄さんお姉さんの優しい励ましを受け

て学校に馴染んでいった経験があるんだろうと思っています。

2年生は、音楽会の経験が有って次々と動いて行つて頼もしいです。聖歌の歌詞で気に入った所を強く歌ったり。そして、自分ができるでないときのくやしがる姿と努力する姿は感動です。取り組む気持ちの強さ、クラスで発表する音楽を作っていこうという気持ちがかんنانに染み透るんだと思いました。真剣な演奏は当日、聴いて下さった方たちに十分伝わりましたね。

去年も今年も、音楽会の直前で転入して加わったお友達がいます。新しい環境で心配だったと想像しますが、ステパノの優しい仲間に助けられて発表ができていました。

音楽の授業だけでなく学校生活の毎日の祈りと励ましの雰囲気は音楽会につながって温かい素敵な時間になりました。ありがとうございます。



〔音楽会〕

六月二十日は「音楽会」でした。小学校一年生から中学三年生までの児童、生徒の歌声が、海に見えるホール中に響き渡りました。

小四 K・F

今日は、音楽会の本番があつて、四年生はクムバーヤーをうたつて、ぼくのいい声をみんなにひびかせました。リコーダーばんそうは、心配だけどできました。低いレまで、はく手かつさいです。次に、せつ明するのは、他のクラスの良いところですよ。一年生の声はすばらしかったです。二、三年生は曲の場面を感じるように歌っていました。楽器や手びょうしも、より楽しくなりそうだったです。五年生の『おひさまになつて』がよかったです。とくにさいごのピアニシモがなきたかったけどなけなかつたです。先生方の歌がもりあがりました。六年生もグッド。中学生もとてもすてきな声でした。もう一度『おひさまになつて』や『みんながみんなえいゆう』をききたかったです。夢の世界へとびたつたようです。楽しかったです。

小五 O・K

五年生の番になり、舞台にのぼったしゅんかん緊張しました。『まぶねの中に』と『おひさまになつて』を歌いました。自分はパイプオルガンをひきました。ひいている時は、緊張しました。最後は、校長先生のお話でした。

自分のたん生日でよかったです。先生がほめてくれました。

小五 T・M

今日は、すごく緊張する音楽会でした。『おひさまになつて』の曲の中がまちがえそうで、すごくこわかつたけど、まちがえなくてよかったです。あと、『まぶねのなかに』で、女の子だけで歌うところは、とてもはずかしかったです。それから、一年生は初めてだとは思えないくらいうまくつたです。それにかわいかったです。二年生はピアニカが上手でした。三年生は、手拍子がきれいにそろつていました。四年生は、リコーダーがうまくふけていました。五年生は、自分としては、がんばつたと思います。六年生は、英語のところも、ちゃんと歌えてすごいなつて思いました。中学生は、ひとりひとりの声がまとまつて、きれいな声が出ているように聞こえました。来年は、もっといい音楽会にしたいです。

小六 K・R

今日は、三、四時間目に初めての音楽会がありました。ぼくたち六年生は、『神こそ愛なり』と『カントリロード』を歌いました。また、ぼくは、司会もやりました。緊張したけど、「けっこうよくできたな」と思いました。ちよつと、かんじやつたり、出るのが早すぎたりしましたけど、来年は、そこに気をつけて、またがんばりたいです。

中一 I・M

今日は音楽会でした。中一は『全ての物は神の宝』と『レッツサーチ for Tomorrow』を歌いました。最初に『気球に乗ってどこまでも』を全員で歌いました。小学校とパートが分かれていて難しかったです。中学校ではリコーダー演奏の『木星』がきれいでした。そして、小学校は一年生の歌がかわいかったです。楽しい音楽会でした。

中一 F・J

今日は音楽会で、とても緊張していました。いざ中一となると、顔がひきつって、笑顔をするのが大変でした。

でも、歌っていると、自然と笑顔が出てくるし、皆と目が合うと、ニコツとしてくれるので、とてもホツとします。

緊張はしたけれど、とても良い一日だったと思います。

中一 M・A

今日は、三、四時間目に音楽会が行われました。私達一年生の発表は後半の部でした。前半の部は、小学校一年生から五年生、それから教職員の方達の発表でした。

教職員の方達の発表は、前半の最後から後半の部の最初まで続きました。

二曲ともすばらしく軽快な音楽でした。

「小学校」六月二十三日、二十四日は、森のおとまりでした。一泊した次の日は、みんな一回り大きくなって、輝いていました。

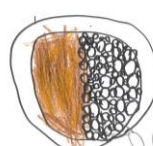
小一 S・A
三ねんせいといっしょにねむれてよかったです。

小一 S・P
カレーを3ばいおかわりして、たのしかったです。

小二 T・H
かみひこうき大会がおもしろかったです。いそべえがなにかをはなしてました。夜の会がおもしろかったです。ちなみに、あさごはんのいわしがおもしろかったです。ランチョンマット作りもおもしろかったです。

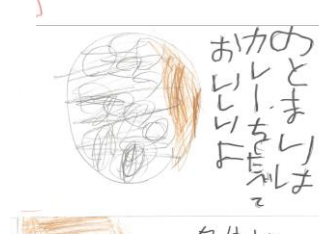
小二 I・H
森のおとまり会でたべたカレーがおいしかったです。かくしあじは、はちみつとヨーグルトとカフェインゼロのコーヒーとトマトとチョコレートとりんごジュースです。4はい食べました。2はい目からずっとキーマカレーでした。おいしかったです。つぎは、ぼくたちが作ります。わくわくします!!

3年生は、森のおとまりの感想を俳句にしてみました。



かくし味
カレーのごき
ふ決まり

ねれません
暑くてねれない
ときすずま



「中学校」6月9日（金）に劇団四季劇場（新橋）へ「アラジン」を観に行ってきました。今年も「本物のもつ力」を間近で感じられた観劇となりました。

中一 A・S

今日は校外学習で劇団四季の「アラジン」を見にいきました。昨日の夜はワクワクしていて、寝つきが悪く、よく眠ることができなかったです。

始まった時、注意事項を色々言われましたが、映画の時みたいに怖い感じではなく、おもしろかったです。2時間半くらいやりましたが、勉強を2時間半やるよりも一〇〇倍速く感じました。みていて役者つめつちやカツコ良かったです。でも、大変努力をされているのでしょうか。それじゃなかったら、あんな歌もうまくダンスもうまく、セリフを覚えるのも無理です。スゴイと思いました。

中一 S・A

今日は、アラジンを見に行きました。おもしろかった部分は「ホットケーキ」のところでした。ジーニーもおもしろかったです。アラジンを%であらわすと、おもしろかった%約91、999875%です。アラジンが終わった後、集中しすぎて現実に戻った感覚がしませんでした。1時間後になおりました。

今日は観劇でした。アラジンを観るのは、はじめてでしたので、わくわくしていました。セツトや魔法のじゅうたんがすごかったです。舞台に出て演じて

いる人は、今日までにすごく長い時間をかけて練習したんだな、と感じました。なので、自分も色々なことを頑張らないと、と思いました。来年の観劇も楽しみです。

中一 N・S



中二 O・K

今日は観劇でアラジンを見に行きました。どのシーンもおもしろかったけれど、一番おもしろかったのは、ジーニーがランプから出てきて、アラジンの最初の願いをかなえてあげるところまでのくだりすべてです。こまかい感想をあげていきたいのですが、どのシーンも素晴らし過ぎて、ぜんぜん出てきません。しいて言うなら、カーテンコールの時にジーニーが第四の壁をぶっこわして、観客に手をふっていたことです。とても楽しくて、濃厚な時間でした。

今日は観劇に行きました。すばらしいミュージカルでした。今日はじめてアラジンを知りました。音が大きかった。いろいろなセリフが歌になっているのが良かった。マジックを使っているのもよかった。でも、花火とクラッカーにはちよつとビックリしました。そして、とても楽しい思い出になりました。また、見にいきたいです。来年も楽しみにしています。

中三 N・Y

きのう、観劇がありました。今年はアラジンを観ました。本編が始まる前、ジーニーのプレショーがあり、そこがいちばん面白かったです。もちろん、ジーニーが出たシーンも面白かったです。

一番良かったシーンは、ジャスミンとアラジンが魔法のじゅうたんでデートするシーンです。まわりの星座がキラキラしていてとてもきれいでした。その下の海も淡く光っていてまるで自分も夜景を見ているみたいでした。

最後の観劇でよい体験ができてよかったです。



中二 K・T



「本物であること」

舞台後方が大きなガラス窓の、海に見えるホール。季節や天候によって景色はさまざまで、見飽きることがありません。遠くには相模湾が広がり、ホールを覆うように茂る木々は、たくさんの鳥や生き物の棲み処でもあります。

小川学園長先生は、ホールの建設にあたり、旧約聖書の創世記をイメージしたのだそうです。神様が六日間かけて天地や海、動植物を創られ、「それは極めて良かった」とされたとおりの景色です。

そして神様は土の塵でご自身に似せて人を形作り、命の息を吹き入れます。舞台に置かれたパイプオルガンは、フランスの職人さんがパイプを一本一本やすりと小刀で削り、息を吹き入れてホールに合う音を作りました。聖ステパノ学園の校章が入った、世界に一つしかないオルガンです。

フランス製は、ほかの国で作られたものに比べて音が柔らかいのだそうです。パイプオルガンに近い音を出す電子オルガンはあっても、本物ではありません。窓から見える景色もパイプオルガンの音も全部本物であること

はとても贅沢ですが、必要であると神様が与えて下さったのだと思うのです。

小川先生は、「この程度でいいだろうと思ったらこの程度になってしまふ。できる範囲でいいから最高を目指したい」と考え、本物のパイプオルガンにこだわりました。

二〇一一年に設置されるまでには多くの困難がありました。一人息子を事故で亡くした方が支援して下さいました。実現への大きな一歩が踏み出せたそうです。「息子さんの声が聴きたくなったらいつでもパイプオルガンを聴きにホールに来てください」と小川先生は話されたとのことでした。

ホールに入ると窓からの景色に目を奪われます。下を向いている人は誰もおらず、みんな自然と前を向きます。「うつむいていないで顔を起こせ」と澤田美喜先生がよくおっしゃっていたコンセプトがここにあると小川先生はおっしゃいます。

二度ほど訪れた神奈川県知事は、ここは大磯のマグネットポイント、つまり人が吸い寄せられるところだと表現したそうです。

最高の音を聞き、それに合わせて歌うのは何物にも代えがたい経験であることを子どもたちは大人になった時に気づくことでしょう。



STEPHEN'S NEWS

【離着任のお知らせ】

6月末で佐々木茂穂事務長が退職され、村井信治事務長が着任されました。また、養護教諭の田島恵先生の退職に伴い、原優花先生が退職され、森山結佳先生は留学のため、退職されました。

☆転入学募集のお知らせ

二〇一七（平成二十九）年度に転入学を希望する児童・生徒を若干名募集しています。

- ・聖ステパノ学園小学校
- ・一年生～五年生 各若干名
- ・聖ステパノ学園中学校
- ・一～二年生 各若干名

詳細は、学園事務室にお問い合わせ下さい。

編集後記

岩崎山ではセミが鳴き始め、少しずつ夏を感じています。そんな中でもステパノっ子たちは暑さに負けず、いつも元気に走り回っています。一学期もあと少しですが、みんなが元気に夏休みを迎えられるといいです。（に）

代表者 学園長 小川 正夫
発行者 聖ステパノ学園小学校・中学校
ステパノだより編集委員会

〒三五〇〇〇三 神奈川県中郡大磯町大磯八六八

TEL 0463・61・1298
FAX 0463・61・9739

<http://www.stephen-oiso.ed.jp>

二〇一七年七月十日（月）発行 第212号